



## 2017 年度 サーティフィケート授与

スーパー連携大学院コンソーシアム web ニュース  
2018 年 3 月 28 日

### ●2017 年度サーティフィケート授与

2017 年度サーティフィケートは、「イノベーション博士サーティフィケート」1 名、「イノベーション修士サーティフィケート」を 4 名に、各所属大学の修了式に合わせ授与いたしました。

本プログラム開講 7 年間で受講生 60 名となり、「イノベーション修士サーティフィケート」を 19 名、「イノベーション博士候補サーティフィケート」を 9 名、「イノベーション博士サーティフィケート」を 2 名が取得しています。

#### イノベーション博士サーティフィケート

電気通信大学 情報システム学研究科 情報ネットワークシステム学専攻 中島拓真さんは、博士後期課程の所要単位を満了し、2017 年 12 月 22 日の修了式にて福田喬学長よりイノベーション博士サーティフィケートを授与されました。

また、修了と同時に共同研究先である TIS 株式会社に就職し、ご自身の研究を基に社内ベンチャー立ち上げ準備中です。



中島拓真さんと福田喬学長

#### イノベーション修士サーティフィケート

室蘭工業大学 工学研究科 情報電子工学系専攻	白 照印
室蘭工業大学 工学研究科 情報電子工学系専攻	深瀬任昭
室蘭工業大学 工学研究科 環境創生工学系専攻	山下涼太
電気通信大学 情報理工学研究科 情報学専攻	森田和貴

イノベーション修士サーティフィケート取得の 4 名に、受講しての感想を書きいただきました。

#### 白 照印さん

2 年間、毎日とても勉強になり、充実した 2 年でした。

最初の 1 年間は、授業が多く、毎日の生活をスケジュール管理表で管理していました。とても面倒くさかったのですが、それによって生活のリズムができました。今では、全てのことにスケジュール管理が役に立っています。

2 年生になると、就職活動が始まり、スーパー連携大学院の授業で学んだことを、わかりやすく相手に伝えることができ、多く講義の勉強内容から自分をアピールすることができました。また、普段の生活、専門分野に関する知識



室蘭工業大学 白 照印さん

を増やすだけでなく、経済、ビジネスなど、多分野の知識が身につきました。特に「ロジカルシンキング入門・実践講座」と「国際科学技術コミュニケーション論」を通じて、物の見方を多面的に見るということを学びました。私にとって2年間の勉強はすごく役に立ちました。

### 深瀬 任昭さん

一番印象に残った科目としては「現役社長の講話」です。企業のインターンシップと違い、地域ならではの問題や、懇親会を交えたお話もあり、大変強く記憶に残っています。また、参加した企業間の繋がりも見ることができました。

eラーニングによる他大学の講義は自大学の講義とは違い非常に大変で、今まで勉強をしてこなかった講義も受ける必要があったため、その予習や復習は難しかったです。

しかしながら、色々な経験を積むことができるこのカリキュラムは自分にとってとてもプラスになるものでした。

研究や自大学の講義の兼ね合いもありますが、受けてよかったと思います。



室蘭工業大学 深瀬任昭さん

### 山下 涼太さん

この度、同期の2人とともに室蘭工業大学大学院で初めてイノベーション修士サーティフィケートを取得できることとなりました。うれしさと感謝の気持ちでいっぱいです。2年間、スーパー連携大学院プログラムを受講しましたが、最も印象に残っていることは、集合教育を通じた他大学の受講生・教職員の皆様との出会いです。室蘭で佇んでいるだけでは絶対にお会いできなかったアグレッシブな皆様との触れ合いが、自分もより努力を重ね、さらに上を目指そうと思わせてくれました。これからも新たな人との出会いや繋がりを大切にしていこうと思っています。

たくさんの方の講義の中でも特に印象的だったものは各地で開講されている「現役社長の講話」です。企業の社長さんから成功談だけでなく、失敗談をも直接お聞きできる講話と、会社の見学がセットとなった大変貴重な機会です。毎回積極的に質問させていただきました。社長さんや会社の方々には本当に素敵な方々ばかりで、質問の返答以上のアドバイスも多くいただけて、とてもありがたかったです。チャレンジに失敗はつきものであるということ、人々の役に立つための努力を惜しまないことが大事であるということを実感しました。

また、単位の出る講義ではありませんでしたが、2泊3日で行われた電気通信大学の「英語特別プログラム」には2年連続で参加させていただきました。電気通信大学の奥浩昭先生には厳しくもあたたかく丁寧にご指導いただきました。特に2年目にはほぼマンツーマンで鍛えていただいたおかげで、TOEICスコア目標の600点に到達することができました。今後もより高得点を狙うとともに国際人を目指して頑張っていきます。

「現役社長の講話」をはじめとした集合教育の際には、再会した他の地域の受講生とその土地土地の名物を食べながら近況報告し合ったり、所属している研究室のメンバーに、各地のお土産を買ったりすることがいつからか楽しみになっていました。また、いつも現地の大学の教職員の皆様には大変お世話になりました。



室蘭工業大学 山下涼太さん

大分大学では先生が別府地獄めぐりに連れて行って下さいました。秋田県立大学を訪れたときには、翌日の学会参加のために講義を早退して帰宅する際、往復 2 時間以上かかる大学から空港までの長い雪道を私一人のためだけに車で送って下さいました。皆様に本当に親切にいただき、訪れた各地とそこに暮らす人々が好きになりました。そして、多くの方が我々学生と別れる際に、「これからも頑張るね、日本の将来を頼んだよ。」というような言葉をかけて下さいました。ご期待にお応えできるよう、いただいた言葉たちを今後も胸のポケットに入れて、時に取り出して、自分を鼓舞しながら社会に貢献していこうと考えています。近い将来、何とか頑張るってイノベーションを起こし、多くの人々を幸せにしたいです。

生物系を専門分野としている私が苦勞したことは、本プログラムの講義は情報系のものが非常に多かったことです。時間のかかる研究活動と講義を何とか両立しようと、実験の合間を縫って、講義のライブ・オンデマンド受講と講義課題作成に勤めました。特に修士課程 1 年の後期は土日や昼夜を問わず、ずっと研究活動と講義に追われ、リラックスできる間もほとんどなく、本当に苦勞しましたが、その分、今後さらに大きな発展が予想される情報系のものを中心に、様々な知識や考え方を身につけることができました。将来の自分への大きな投資となったと思います。

最後に、いつも考えすぎて失敗してきた 2 年前までの自分はもう過去にしかおらず、2 年間の本プログラム受講がどんなことでもとりあえずやってみようという考え方に自分を変えてくれたと思っています。学部 4 年生と修士課程 1 年間の春休みのある日、一歩踏み出して本プログラムを受講しようと決意して本当に良かったです。努力のし甲斐がある大変素晴らしいプログラムでした。この春からは就職し、新社会人になりますが、チャンスがあれば博士号取得を目指して大学院に戻り、また本プログラムを受講させていただきたいです。

2 年間いつも親身になって相談に乗って下さるなど、大変お世話になりましたスーパー連携大学院コンソーシアム事務局をはじめ、本プログラムに携わって下さった産学官の多くの関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、今後のご多幸とご発展を心よりお祈り申し上げます。

## 森田 和貴さん

日本全国へ飛び回ってのプログラムで大変なこともありましたが、沢山の企業の社長の方々とお話できたのはいい機会だと思いました。独立した方や親の会社を受け継いだ方、社内起業の方など様々な背景があり、それぞれの異なった思想での活動話を聞いたことが印象深かったです。

そして何より、様々な大学、専攻の方々とお話できた経験はとても貴重でした。自分の専攻とは違う学生の方と一緒に過ごす機会は珍しく、楽しい経験でした。



電気通信大学 森田和貴さん